

小学校 第6学年 社会 戦国の世から天下統一へ（東京書籍 新編 新しい社会6）

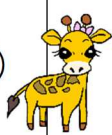
○単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解することができる。 ・遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめることができる。	・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができる。	・社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする。 ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする。 ・多角的な思考や理解を通して我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を高めようとする。

○探究の過程

①課題の設定	火縄銃の重さを実感し、使用することの大変さを考え、織田軍が勝利した方法について更に調べようという気持ちを持つ。
②情報の収集	外国とどのように関わっていたのかを、Jamboardを活用して友達と情報を共有しながら調べる。
③整理・分析	織田信長、豊臣秀吉が行った取組について、その理由や目的を整理し、取組によって変化したことを考える。
④まとめ・表現	織田信長と豊臣秀吉の取組がどのように関わり合って天下統一がされたのかを話し合い、自分の考えを文章にまとめる。

○単元計画（6時間扱い）

時	目標	学習活動	探究の過程
1	長篠の戦いの勝敗や様子について話し合い、織田信長が力を発揮するようになってきたことに興味・関心を持つことができる。	・火縄銃の重さから、使用する大変さを実感する。 ・「長篠の戦い」の絵図を見て分かったことや感じたことを発表する。	① 
2	年表や資料を見ながら、話し合っ て学習問題をつくり、学習計画を立てる。	・年表や資料を参考にして、この時代の様子や疑問に思ったことを話し合う。	
3	戦国の世で、日本と外国にはどのような関わりがあったかを調べ、その影響について考えることができる。	・この時代の日本が、外国とどのように関わっていたのか、どのような影響があったのを調べる。 ・調べて分かった情報を、Jamboard を活用して共有する。	② 
4	織田信長は、天下統一をするために、どのような取組を行ったか調べ、考えたことをまとめることができる。	・織田信長が、天下統一に向けてどのような取組を行ったのか、理由や目的について整理する。 ・織田信長が行った取組により、何に、どのような変化があったのか考える。	
5	豊臣秀吉は、天下統一をするために、どのような取組を行ったかを調べ、考えたことをまとめるができる。	・豊臣秀吉が、天下統一のためにどのような取組を行ったのか、理由や目的について整理する。 ・豊臣秀吉が行った取組により、何に、どのような変化があったのか考える。	③ 
6	2人の武将が行った取組が、天下統一にどのように関係していたかを話し合い、学習問題に対する自分の考えをまとめることができる。	・2人の武将が行った取組が天下統一に向かってどのように関わり合っていたのか話し合う。 ・学習問題に対する自分の考えをまとめる。	④ 

第6学年 社会科学習指導案(第1時)
【①課題の設定 単元を貫く課題を設定させたい】

1 単元名「戦国の世から天下統一へ」(東京書籍 新編 新しい社会6)

2 本時の計画

目標	長篠の戦いの勝敗や様子について話し合い、織田信長が力を発揮するようになってきたことに興味・関心を持つことができる。
探究の過程 課題の設定	火縄銃の重さを実感し、使用することの大変さを考え、織田軍が勝利した方法について更に調べようという気持ちを持つ。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 15分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 資料から分かったことを話し合う。 ○「長篠の戦い」を見て分かったことや感じたことを発表しましょう。 ◆馬に乗って戦う人がいる。 ◆銃で戦う人もいる。 2 戦いの様子について詳しく知る。 ○火縄銃の重さや、使いにくさ、戦場までの移動距離を知り、当時の戦いの様子について話し合いましょう。 ◆高価な火縄銃をたくさんそろえていることがすごい。	一斉	◎長篠城を武田勝頼が攻め、助けにきた織田・徳川連合軍との間で起きた戦いであることを補説する。 ◎長篠の戦いの様子を表した図から、織田信長や豊臣秀吉が参加した戦いであることや、信長の下で秀吉が戦っていたことを確認する。
展開 25分	3 織田信長の戦い方の工夫について伝え合う。 ○「長篠の戦い」から、織田信長の戦い方の工夫を見付けましょう。 ◆左の織田・徳川の連合軍は馬を防ぐ柵を作って鉄砲で戦い、右の武田軍は騎馬隊で戦っている。 ◆重い鉄砲を活用して長篠の戦いで使ったのがすごい。	個別	◎どのような戦い方の工夫があるか考えさせる。 ・鉄砲を使うことの効果 ・鉄砲の入手方法 ・織田信長の戦い方に興味を持たせる ◎豊臣秀吉が長篠の戦いに参加していたことを資料から確認する。
織田信長や豊臣秀吉はどのようにして天下統一を進めていったのだろうか。			
	4 当時の国内の様子を年表や資料から考える。 ○このころの世の中がどのような様子だったのかを年表を見て考えましょう。 ◆秀吉は信長の後に力を付けてきたんだね。 ○このころの世の中がどのような様子だったのかを資料を見て考えましょう。 ◆織田信長が大きな領土を持っている。 ◆他の大名は倒されたのかな。	グループ	◎年表から、織田信長と豊臣秀吉のつながりや、織田信長の死後に秀吉が力を付けていったことを確認する。 ◎資料から、たくさんの大名がいる中から、織田信長が抜き出てきたことをつかませる。
終結 5分	5 分かったことをまとめ、次時以降に知りたいことを考える。 ○学習を振り返り、分かったことや疑問に思ったことを発表しましょう。 ◆織田信長は、なぜ大量の鉄砲を買うお金を用意できたのだろうか。	一斉	◎織田信長や豊臣秀吉に対する疑問なども含めて次時につながるようにする。



第6学年 社会科学習指導案(第3時)
【②情報の収集 情報の集め方を考えさせタイ】

1 単元名「戦国の世から天下統一へ」(東京書籍 新編 新しい社会 6)

2 本時の計画

目標	戦国の世で、日本と外国にはどのような関わりがあったかを調べ、その影響について考えることができる。
探究の過程 情報の収集	外国とどのように関わっていたのかを、Jamboardを活用して友達と情報を共有しながら調べる。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 10分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応		
	1 当時の日本と外国の関わりを考える。 ○この当時の世界地図を見て、どのように日本が外国と関わっていたのか考えましょう。 ◆ヨーロッパから日本に来ることが大変そうだった。	一斉	◎この時代の世界の様子や、キリスト教がどのように伝わってきたのかを、地図を活用して、「位置や空間的な広がり」の視点で捉えさせる。 ・船を利用して日本に来たこと ・地球が平らだと信じられていたこと ・日本に船で来ることが大変だったこと
	2 動画を見て、「南蛮貿易」について知る。 ○「南蛮貿易」について学習しましょう。 ◆日本とヨーロッパはつながっていたんだ。	一斉	
	この時代に伝わった南蛮文化から、今でも日本語として使われているものを見付けよう。		
展開 30分	3 南蛮から日本に伝わったものを調べる。 ○今でも日本で使われている南蛮からのものや言葉を調べましょう。 ◆カステラや金平糖など。	個別	◎この時代に伝わった南蛮文化で、今でも日本語として使われているものや言葉があることを資料で確認する。
	4 調べたことをまとめる。 ○調べたものをJamboardの表に載せて、グループで共有しましょう。 ◆日本のものだと思ったものでも、南蛮からきたものがある。 ◆まとめるときに「食べ物」という項目でまとめた方がよさそう。 ◆友達と話し合う中で、資料集や地図帳を使って調べられそうだったと思った。	グループ	◎調べる前に表を提示し、グループで協力して調べるように指導する。 ◎他に調べる方法がないか考えさせる。 ◎たくさんの品物を表に仲間分けする中で、食べ物や嗜好品だけでなく、技術なども外国から入ってきたことが分かるように指導を進める。
終結 5分	5 まとめた表から分かったことを話し合う。 ○今日分かったことをまとめましょう。 ◆いろいろなものが外国から入ってきている。 ◆この時代に入ってきたものは、今も残っているものがあることに驚いた。 ◆食べ物や生活用品など、外国から来たものはたくさんの種類になっている。	一斉	◎資料から、キリスト教の広がりなどを伝えた上で、伝わったものが多種多様であることに気付くようにする。

情報の収集



第6学年 社会科学習指導案(第5時)

【③整理・分析 情報を整理しタイ】

1 単元名「戦国の世から天下統一へ」(東京書籍 新編 新しい社会 6)

2 本時の計画

目標	豊臣秀吉は、天下統一をするために、どのような取組を行ったかを調べ、考えたことをまとめることができる。
探究の過程 整理・分析	織田信長、豊臣秀吉が行った取組について、その理由や目的を整理し、取組によって変化したことを考える。

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 10分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 年表からどのような人物が読み取る。 ○豊臣秀吉が行った取組を年表から読み取り どのような人物だったか考えましょう。 ◆若いうちから戦いに出ている。	一斉	◎豊臣秀吉の取組については、人物のエピソードなどからも考えさせるようにする。
展開 25分	2 豊臣秀吉が行った取組を整理する。 ○豊臣秀吉が天下統一に向けてどのようなことを行ったのか調べましょう。 3 豊臣秀吉が行った取組の理由や目的を調べる。 ○豊臣秀吉の取組について調べ、ワークシートにまとめましょう。 ◆学習した4つの取組を分担して調べよう。 ◆秀吉が作った城について調べたい。 ◆検地の理由はどんなものがあるかな。 豊臣秀吉のはたらきを調べよう 自分が調べようと思うテーマに○を付けよう。 大坂城 刀狩 太閤検地 関白に就任 豊臣秀吉がそれを行ったわけは ↓ それによって、世の中はどう変わったか 4 豊臣秀吉が行った取組について、分かったことを発表する。 ○ワークシートにまとめて、分かったことを発表しましょう。 ◆百姓は検知と刀狩でその場所に住んで、農業をするという流れができたんだね。	一斉 グループ	◎「大坂城の築城」「刀狩」「太閤検地」「関白に就任」の4点に触れる。 ◎豊臣秀吉の取組を動画や資料集、インターネットなどで調べる。 ◎学習活動2で学んだ4点について、グループで分担をし、調べさせる。また、友達が調べた内容をJamboardで共有できるようにする。 整理・分析 
終結 10分	5 学習のまとめをする。 ○これまでの学習から分かったことを考えましょう。 ◆信長の取組と合わせて、秀吉で天下統一がなされた感じがする。 ◆どちらも大きな城を作っている。	一斉	◎織田信長と豊臣秀吉の2人の取組を振り返らせるようにする。

1 単元名「戦国の世から天下統一へ」(東京書籍 新編 新しい社会6)

目標	2人の武将が行った取組が、天下統一にどのように関係していたかを話し合い、学習問題に対する自分の考えをまとめることができる。
探究の過程 課題の設定	織田信長と豊臣秀吉の取組がどのように関わり合って天下統一がされたのかを話し合い、自分の考えを文章にまとめる。

	学習活動	形態	指導上の留意点
段階 導入 5分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 自分の考えを振り返り、学習の進め方を確認する。 ○これまでの学習を振り返り、2人の武将の取組について話し合しましょう。 ◆織田信長と豊臣秀吉のそれぞれについてワークシートを見直してみよう。	一斉	◎2人の取組についてまとめたワークシートを見直し、それぞれのよさを考えることを確認する。
展開 35分	2 2人の取組についてそれぞれのよさや意味を考える。 ○織田信長と豊臣秀吉の取組が、天下統一に向けてどのように関わっていたのか考えましょう。 ◆自分は検地について調べたから、まずはそれから考えてみよう。 3 考えたことを発表し合う。 ○自分が考えたことを、理由も含めて発表しましょう。 ◆信長が大量の鉄砲を手に入れたことは、他の大名を倒すために大きな意味があったと思う。 ◆堺の支配や大坂城築城など、大きな町を自分のものにすることは、天下統一に必要なことじゃないかな。 ◆秀吉が検地と刀狩をしたことは、戦いをなくすことにつながるから、天下統一に向けた大きなことだと思う。 4 学習問題に対する自分の考えをまとめる。 ○これまでの学習を振り返り、学習問題に対する自分の考えを書きましょう。 ◆織田信長、豊臣秀吉は、どちらも大きな町を支配することで、金銭的に豊かになり、天下統一を進めていくことができました。 ◆織田信長、豊臣秀吉は、どちらも大きな城を築くことで、支配を広げて天下統一を進めていくことができました。	個別↓グループ 一斉 一斉	◎2人の取組の目的や意図を考えるように指導する。 ◎グループで相談し、様々な考えがでるようになる。 ◎天下統一に向けて、2人の取組が重なって天下統一がなされたイメージを持たせるように指導する。 ◎理由を考える際には、以下のようなことを根拠として考えさせる。 ・南蛮貿易で外国の技術や文化を取り入れたり、楽市・楽座で経済的に豊かにしたりしたことで、勢力を拡大したこと ・検地や刀狩などの仕組みやきまりによって人々の生活に影響を与えたことで武士が世の中を支配しやすくなったこと ・城を築いたり、官職を得たりしたことで、自らの権力を強めたこと ◎「織田信長、豊臣秀吉は…」という文頭と「～したことで戦国の世をおさめていくことができました」という文末を使い、まとめさせる。 ◎考えることが難しい児童には、ワークシートでまとめてきた言葉を時系列に整理させて考えさせる。 まとめ・表現
終結 5分	5 これまでの学習を振り返る。 ○この単元の学習を振り返り、分かったことや考えたことをまとめましょう。 ◆友達の発表を聞き、改めて2人の仕事を見直すことができました。	一斉	◎学習を振り返る中で、2人の取組により天下統一がなされたことや、天下統一を果たすためには様々な要因があったことを再確認させる。

